

西岳・フウキ沢ヤツガタケトウヒ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・南信森林管理署
所在地	長野県諏訪郡富士見町
面積	32.81ha
設定年	平成30年4月1日設定
保護林の概要 (設定目的)	ヤツガタケトウヒは八ヶ岳及び南アルプスのみに分布し、他に純林はないことから、混交しているカラマツとともに、貴重な遺伝資源として保存する。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを4箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	<p>ニホンジカによる下層植生への食害が大きい群落である。現状において、剥皮防止資材等の対策が実施されている場所もあるが、保護対象種の後継樹が減少し、下層植生への食害が多数確認されている。</p> <p>風倒害による倒木が散見されたが、面的な被害は確認されない。</p> <p>林冠を構成している保護対象種は概ね順調に生長しているが、保護対象種の後継樹が減少し、ニホンジカによる下層植生の食害が懸念されることから、今後のモニタリングで注視する。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。